

既習事項のまとめ

標本調査に関する既習の内容

小学校

1年	・ものの個数を絵や図などを用いて、表したり読み取ったりすること
2年	・身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて、表したり読み取ったりすること
3年	・資料を分類整理し、表やグラフ(棒グラフ)を用いて、わかりやすく表したり読み取ったりすること
4年	・目的に応じて資料を集めて分類整理し、表やグラフ(折れ線グラフ)を用いて、わかりやすく表したり特徴を調べたりすること ・資料を2つの観点から分類整理して特徴を調べること
5年	・異種の2つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表し方を理解すること(単位量あたりの大きさ) ・百分率について理解すること(表すこと) ・目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて、表したり特徴を調べたりすること
6年	・資料の平均や散らばりを調べ、統計的に考察したり表現したりすること

中学校

1年	「資料の活用」 ・度数分布 ・代表値と散らばり ・近似値
2年	「確率」 ・確率の意味 ・確率の求め方 ・不確定な事象をとらえ説明すること





<p>Handwriting practice area with horizontal dashed lines.</p>	<p>Three large empty rectangular boxes for drawing or writing.</p>
--	--